



2023年10月30日

各 位

上場会社名 常 磐 興 産 株 式 会 社
代 表 者 代表取締役社長 西澤 順一
コード番号 9 6 7 5 (東証スタンダード)
問合せ先 執行役員管理部担当 藁谷 哲也
電 話 番 号 0 2 4 6 - 4 3 - 0 5 6 9

特別利益(投資有価証券売却益)の計上見込み、特別損失(減損損失、災害損失)の計上、業績予想の修正及び剰余金の配当(中間配当無配)に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、特別利益(投資有価証券売却益)の計上及び特別損失(減損損失、災害損失)の計上を行うとともに、2023年5月15日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正することを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益(投資有価証券売却益)の計上

(1) 投資有価証券の売却理由

コーポレートガバナンス基本方針に基づき、政策保有株式の見直し及び資産効率の向上及び財務体質の強化のために実施するものであります。

(2) 投資有価証券の売却予定時期

2024年3月末まで

(3) 投資有価証券の売却の内容

- | | |
|--------------|------------------|
| ① 売却する投資有価証券 | 当社保有の上場有価証券 1 銘柄 |
| ② 投資有価証券売却益 | 6 億円(見込み) |

2. 特別損失(子会社の固定資産の減損損失、災害損失)の計上

(1) 子会社の固定資産の減損損失

当社の連結子会社である株式会社北茨城ファームにつきましては、2019年4月に設立、2021年8月に大規模農業施設が完成し、ミニトマトを栽培・出荷しておりますが、コロナ禍における外食産業需要減やトマト苗の被病等もあり、当初計画値との乖離が大きい状況となっております。

現在、栽培・管理の技術面も向上し出荷数量も増えつつありますが、当該固定資産の回収可能性を慎重に検討しました結果、当第2四半期連結会計期間において6億81百万円の減損損失を特別損失に計上することといたしました。

(2) 災害損失

2023年9月に発生した台風13号の影響による豪雨により、当社のスパリゾートハワイアンズにおける機械装置類の水没及びスパリゾートハワイアンズ・ゴルフコースのコース内への土砂崩れ等の被害が発生するとともに、当社の連結子会社である株式会社常磐製作所につきましても工場が浸水被害を受けました。

こうした災害に伴う当社の原状回復費用及び営業休止期間中の固定費並びに当該子会社における原状回復費用、営業休止期間中の固定費及び棚卸資産の被害等により、当第2四半期連結会計期間において4億72百万円を「災害による損失」として計上することといたしました。

3. 業績予想の修正について

(1) ①2024年3月期第2四半期(累計) 連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2023年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	7,900	970	880	760	86円53銭
今回発表予想(B)	8,070	1,350	1,350	△20	△2円28銭
増減額(B)－(A)	170	380	470	△780	－
増減率(%)	2.2	39.2	53.4	－	－
(ご参考)前期第2四半期実績(2023年3月期第2四半期)	6,920	729	876	739	84円16銭

②2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	14,500	870	610	500	56円93銭
今回発表予想(B)	14,800	1,190	1,030	410	46円68銭
増減額(B)－(A)	300	320	420	△90	－
増減率(%)	2.1	36.8	68.9	△18.0	－
(ご参考)前期実績(2023年3月期)	13,434	620	683	645	73円50銭

(2) 修正の理由

2024年3月期第2四半期累計期間において、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行されたことも相俟って、主力のスパリゾートハワイアンズの利用者数が想定を大幅に上回り、前述の豪雨により休館など営業面への影響はありましたものの、当該期間における観光事業の営業利益は過去最高となりました。

こうした観光事業の好調を主因に、営業利益・経常利益ともに前回発表いたしました予想数値を大幅に上回る見通しとなりました。

しかしながら、前述1の投資有価証券の売却益を、2(1)減損損失、(2)災害損失による特別損失の計上額が上回る見込みであることから、親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益は、前回予想を下回る見通しであります。

※ 上記の業績の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

4. 剰余金の配当(中間配当無配)について

(1) 剰余金の配当(中間配当の内容)

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2023年3月期)
基準日	2023年9月30日	同左	2022年9月30日
1株当たり配当金	円 銭 0.00	未定	円 銭 0.00
配当金総額	-	-	-
効力発生日	-	-	-
配当原資	-	-	-

(2) 理由

2024年3月期の中間配当につきましては、業績及び財務状況等を踏まえ、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

尚、2024年3月期末の配当予想につきましては、引き続き未定とさせていただきます。

以 上